

正式名称	富山県立イタイタイ病資料館
場所、 アクセス	<p>富山市友杉 151 番地（とやま健康パーク内）</p> <p>JR 富山駅からバスで約 30 分。中坪口下車徒歩約 10 分</p> <p>予約不要、入館無料</p> <p>http://itaiitai-dis.jp/?tid=100086</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
ここがお勧め！	<ul style="list-style-type: none"> ・イタイタイ病は、四日市喘息、水俣病、新潟水俣病とともに、ほぼ同時期に 4 大公害事件として裁判が行われたが、その詳細が、当時の資料や映像・音声解説などで分かりやすく紹介されている ・「イタイタイ病関係資料継承検討会」の報告を受け、平成 24 年 4 月に開館した。以下の 5 つのゾーンから構成されている。 <ol style="list-style-type: none"> ① 神通川とともにあった暮らしの原風景 ② イタイタイ病の発生と被害の実態 ③ 原因究明、健康と暮らしを守る動き ④ 流域住民の健康を守り、患者を救う ⑤ 美しい水と大地を取り戻してきた環境被害対策 <p>また、エントランス床面には流域地図が描かれ、位置関係をつかみやすい</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10 名以上の団体においては、解説員の解説があり、更に詳しく知ることができる

	<ul style="list-style-type: none"> 各コーナーには「子どもワークシート」が置かれ、クイズに答えながら展示内容を理解することもできる 環境被害克服の取り組みはこれからも続く。最新情報は、メルマガ登録で知ることができる 																																																																		
<p>イタイイタイ病に関する展示内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> イタイイタイ病は、神岡鉱山から流失したカドミウムが神通川流域を汚染し、これを川水や米を通じて体内に摂取したことにより発生したもの。被害者が「イタイ、イタイ」と泣き叫んだことからこの病名がついたと言われている カドミウムの慢性的な摂取による中毒から腎障害となり、骨軟化症を引き起こすものである。尿細管障害がみられ、また、骨粗鬆症を伴う。骨粗鬆症は、骨重量が減少し、また、骨密度の低下も見られる。正常な骨と骨粗鬆症の骨見本が展示され、手に取ることにより骨粗鬆症の骨の軽さを体感することができる 疾患は大正時代から発症していたが、原因の確定をみたのは、昭和 36 年の第 34 回日本整形外科学会での地元富山県婦中町萩野医院萩野昇博士らの発表を受けた昭和 43 年の厚生省発表である。 昭和 36 年の日本整形外科学会での発表内容の一部を紹介する。 灰の中に含まれるカドミウム量がイタイイタイ病患者において顕著であることが示されている。 <div data-bbox="427 1133 1366 1644" style="background-color: #ffffcc; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">イタイイタイ病患者の骨のスペクトル 化学的定量分析表（灰の中の含有量を ppm で示す）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;"></th> <th style="width: 10%;">Cd</th> <th style="width: 10%;">Pb</th> <th style="width: 10%;">Zn</th> <th style="width: 10%;">Cu</th> <th style="width: 10%;">Ag</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肋骨(事故死)</td> <td>6</td> <td>23</td> <td>74</td> <td>9</td> <td>0.29</td> </tr> <tr> <td>胸骨(リンパ性白血病)</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>100</td> <td>4</td> <td>0.39</td> </tr> <tr> <td>脊椎(富山イタイイタイ病)</td> <td>300</td> <td>37</td> <td>800</td> <td>8</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>大腿骨(富山イタイイタイ病)</td> <td>290</td> <td>22</td> <td>700</td> <td>11</td> <td>0.17</td> </tr> <tr> <td>肋骨(胸骨)</td> <td>150</td> <td>76</td> <td>3400</td> <td>85</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>同人(足骨)</td> <td>270</td> <td>280</td> <td>6700</td> <td>33</td> <td>235</td> </tr> <tr> <td>肋骨(胸骨)</td> <td>3800</td> <td>530</td> <td>3000</td> <td>390</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td>同人(足骨)</td> <td>3300</td> <td>23</td> <td>5800</td> <td>27</td> <td>9.4</td> </tr> <tr> <td>クル病の骨</td> <td>35</td> <td>1600</td> <td>12000</td> <td>320</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Tipton* (生の骨 99 例の平均)</td> <td>ND</td> <td>6.6</td> <td>66</td> <td>0.6</td> <td><0.1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">* Elements in the body-organs of standard man. より引用</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 萩野昇, 吉岡金市「イタイイタイ病の原因に関する研究について」 日本整形外科学会雑誌 第 35 巻第 8 号 98-101 頁(第 34 回日本整形外科学会総会記事)より、日本整形外科学会の許可を得て転載 認定患者は昭和 42 年の認定から 196 人。内訳は、男性 3 人、女性 193 人。生存者は 3 人である 神岡鉱山での発生源対策の他、土壌復元工事も行われた。汚染土は 15cm 程 		Cd	Pb	Zn	Cu	Ag	肋骨(事故死)	6	23	74	9	0.29	胸骨(リンパ性白血病)	11	7	100	4	0.39	脊椎(富山イタイイタイ病)	300	37	800	8	0.2	大腿骨(富山イタイイタイ病)	290	22	700	11	0.17	肋骨(胸骨)	150	76	3400	85	350	同人(足骨)	270	280	6700	33	235	肋骨(胸骨)	3800	530	3000	390	3.6	同人(足骨)	3300	23	5800	27	9.4	クル病の骨	35	1600	12000	320		Tipton* (生の骨 99 例の平均)	ND	6.6	66	0.6	<0.1
	Cd	Pb	Zn	Cu	Ag																																																														
肋骨(事故死)	6	23	74	9	0.29																																																														
胸骨(リンパ性白血病)	11	7	100	4	0.39																																																														
脊椎(富山イタイイタイ病)	300	37	800	8	0.2																																																														
大腿骨(富山イタイイタイ病)	290	22	700	11	0.17																																																														
肋骨(胸骨)	150	76	3400	85	350																																																														
同人(足骨)	270	280	6700	33	235																																																														
肋骨(胸骨)	3800	530	3000	390	3.6																																																														
同人(足骨)	3300	23	5800	27	9.4																																																														
クル病の骨	35	1600	12000	320																																																															
Tipton* (生の骨 99 例の平均)	ND	6.6	66	0.6	<0.1																																																														

	<p>度までであり、それを削り取り埋め込み耕盤土で塞ぐ「埋め込み客土工法」などの対応が取られた。工事は平成 24 年に終了、総工費は 407 億円である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民と原因企業（三井金属鉱業）で締結された「公害防止協定」により、昭和 47 年から、住民や専門家による神岡鉱山への立ち入り調査が行われ、参加者は、延べ 6,000 人を超えている
<p>周辺情報</p>	<p>① 神岡鉱山は、GSA (GEO SPACE ADVENTURE) として、毎年夏、東京大学宇宙線研究所神岡宇宙素粒子研究施設「スーパーカミオカンデ」(外観のみ) とともに見学できる。抽選。今回申し込んだが外れた。来年は是非当選し、神岡鉱山から神通川流域を見てみたい。</p> <p>なお、スーパーカミオカンデはニュートリノの研究施設であり、ノーベル賞受賞の小柴昌俊博士の業績は有名である</p> <p>http://gsa-hida.jp/</p> <p>http://www-sk.icrr.u-tokyo.ac.jp/index.html</p> <p>② ますのすしミュージアム</p> <p>富山には多くの鱒寿司製造販売業者があるが、イタイタイ病資料館の近くには「ますのすしミュージアム」があり、工場見学、手作り体験（要予約）などができる</p> <p>http://www.minamoto.co.jp/museum/part/factory</p> <div data-bbox="459 1128 884 1413"> </div> <div data-bbox="911 1128 1335 1413"> </div> <p>立山黒部アルペンルート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山からはアルペンルートを辿って、信濃大町へ抜けることができる。 <p>立山は、特別天然記念物である雷鳥の生息地として有名。雷鳥は、日本全体で推定 3,000 羽、その 1/3 にあたる約 1,300 羽が富山県でその多くが立山に生息する。 http://www.pref.toyama.jp/branches/1732/raityou.htm</p> <p>運が良ければ雷鳥を見ることができる</p>



みくりが池とみどりが池の間の山道 2014. 7. 22、8:40

- ・くろよん（黒部川第四発電所）は、1956年から7年の歳月をかけ完成した。最も困難を極めた工事は、毎秒660Lの地下水と土砂が噴き出す大破碎帯の突破であり、80mを越えるのに7か月を要したことは、石原裕次郎主演の映画「黒部の太陽」で良く知られている。また、多くの犠牲を伴った。

<http://www.kurobe-dam.com/kankou/pamphlet.pdf>



- ③ 東京からは、越後湯沢経由で富山に行くことができる。越後湯沢から JR 上越線で塩沢駅に行くと、三国街道 塩沢宿 牧之通り がある。「北越雪譜」の鈴木牧之にちなむ。電線の地中化、雁木建設による町並みの統一を行った。2011年度都市景観大賞「都市空間部門大賞（国土交通大臣賞）受賞。

<http://www.bokushi-st.com/>

http://www.pref.niigata.lg.jp/minamiuonuma_kikaku/1298404865782.html



牧之通りのたたずまい（撮影：石山秀雄）

記録作成

2014. 8 三谷洋、